

2014年4月16日

「かんたん床暖」 事故防止のためのリコール社告実施について

パナソニック株式会社(旧社名:松下電器産業株式会社)は、2002年7月から2008年12月までに製造したフローリング調電気カーペット「かんたん床暖」など10機種について、事故防止のため市場対応を行います。

当該製品において、コントローラ内部の部品が過熱し、床などを焦がす事故が7件発生しました。いずれも人的被害には至っておりません。

弊社は事故防止のためにリコール社告を行い、対象製品をご使用中のお客様には、電源プラグを抜いてご使用を中止していただくようお願いいたしますとともに、無料で部品交換を実施させていただきます。

お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 対象機種および台数

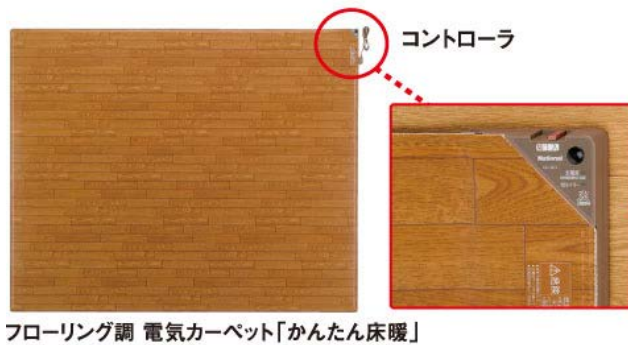
ブランド	品番	対象製造期間	対象台数
National	DC-25B8	2002年 7月～2005年10月	46,610台
	DC-3B8	2002年 7月～2005年 5月	28,379台
	DC-2D1	2004年 8月～2004年10月	3,009台
	DC-3D1	2004年 8月～2005年 5月	1,318台
	DC-25G1	2006年 5月～2006年12月	13,026台
	DC-3G1	2006年 5月～2006年12月	9,722台
	DC-25G2	2007年 7月～2007年12月	17,947台
	DC-3G2	2007年 7月～2007年12月	17,940台
Panasonic	DC-25G3	2008年 7月～2008年12月	21,942台
	DC-3G3	2008年 7月～2008年12月	21,692台
合 計 10機種			181,585台

※上記機種は、日本国内でのみ販売しております。

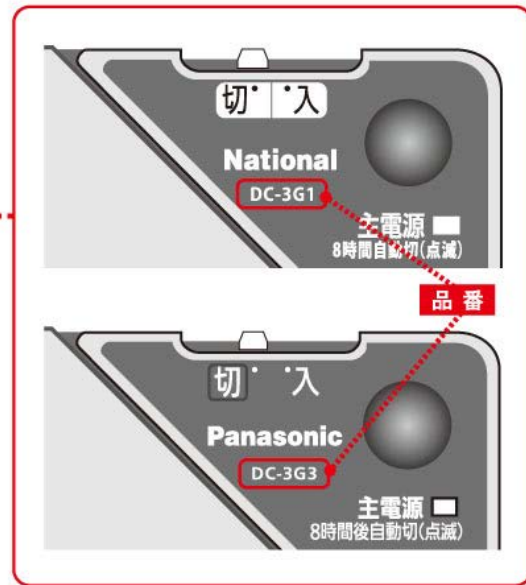
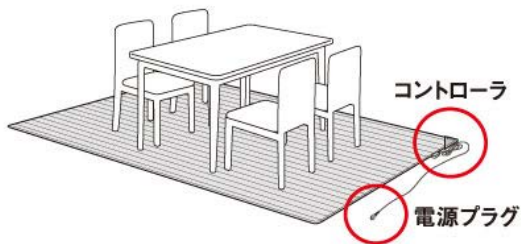
※DC-2D1、DC-3D1はフローリング調ではなく、タフ素材カーペット「タフペット」の名称で販売しておりました。

※DC-25G3、DC-3G3については、2010年1月25日にリコール社告を行った「松下電工製 電気カーペット」の代替品として一部使用いたしました。

品番表示箇所(コントローラ表側の品番をご確認ください)



フローリング調 電気カーペット「かんたん床暖」



National と Panasonic の2種類があります

2. 事故の概要

「かんたん床暖」の事故は過去7件発生しております。

No	品番	発生日	発生場所	被害状況	報告先
1	DC-3G1	2011年11月 3日	京都府	コントローラ部一部穴開き、 床の焦げ	製品評価技術基盤機構
2	DC-3G2	2012年11月 6日	和歌山県	コントローラ部一部穴開き、 絨毯の焦げ	消費者庁・経済産業省
3	DC-3G2	2013年 3月 9日	京都府	コントローラ部一部変形	消費者庁・経済産業省
4	DC-3G2	2013年10月26日	埼玉県	コントローラ部一部穴開き、 床の焦げ	消費者庁・経済産業省
5	DC-3G2	2013年10月29日	東京都	コントローラ部一部穴開き、 床の焦げ	消費者庁・経済産業省
6	DC-25G2	2013年10月30日	埼玉県	コントローラ部一部穴開き、 床の焦げ	消費者庁・経済産業省
7	DC-25G2	2013年11月20日	兵庫県	コントローラ部一部変形、 床の焦げ	消費者庁・経済産業省

※いずれの事故も人的被害には至っておりません。

3. 社告に至る経緯

- ① 2013年11月20日、兵庫県神戸市のお客様より、「かんたん床暖」DC-25G2のコントローラから発煙と異臭がし、床(塩化ビニル製マット)が直径約2cmの円形に焦げたとの情報が入りました。
- ② 一方、「かんたん床暖」の発煙事故としては、2011年11月から2013年10月にかけて同一構造を有する製品にて6件発生していましたが、リレー端子部が焼失しており原因の特定には至りませんでした。
- ③ 2013年11月20日の事故を受け、コントローラの構造が類似している「かんたん床暖」の再調査を行いました。その結果、コントローラケース上面から局部的に繰返し外力を加えることにより、リレー端子部に力が加わり、まれにリレー端子はんだ部の接触不良が発生し、異常過熱により、床などが焦げに至ることを確認することができました。

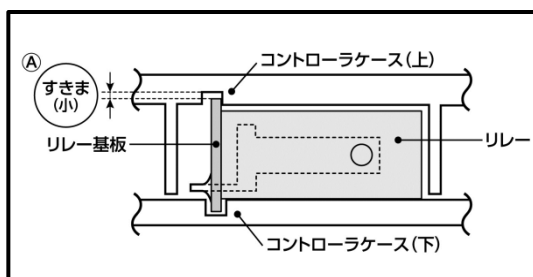
4. 原因

当該「かんたん床暖」のコントローラに内蔵されているリレー基板とコントローラケースとの間のスペースに余裕が少ないため、コントローラケースの上を踏まれるなど、上面から局部的に繰返し外力が加えられることにより、リレー端子部に力が加わり、まれにリレー端子はんだ部の接触不良が発生し、異常過熱により、焦げに至る可能性があるかと判断しました。

5. 対策内容

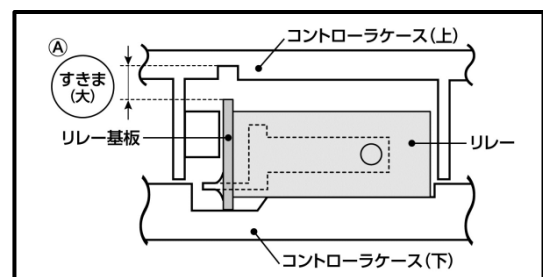
リレー基板に外力が加わらない構造としたコントローラケース(下)に交換いたします。
あわせてリレー基板も交換いたします。

対策前断面図



Ⓐ リレー基板とコントローラケース間のスペース

対策後断面図



Ⓐ リレー基板とコントローラケース間のスペース

6. 対象の特定

事故機種とコントローラケースが類似構造の製品10機種を対象としました。

7. お客様への対応

①対象製品をお持ちのお客様には、弊社にて製品をお預かりし、無料で対策部品に交換いたします。

②明日4月17日、新聞紙上で、リコール社告を行います。

③弊社ホームページにてお知らせいたします。

URL:<http://panasonic.co.jp/ap/>

④本日から、フリーダイヤルと弊社ホームページにてお問い合わせをお受けいたします。

〈フリーダイヤル〉 受付時間:9時～21時(5月15日まで毎日)

9時～17時(5月16日以降、土・日・祝日を除く)

・かんたん床暖市場対策室

0120-873-329

〈ホームページ〉 <http://panasonic.co.jp/ap/s/carpet/>

以上